

号外

みんなの党  
みんなの党

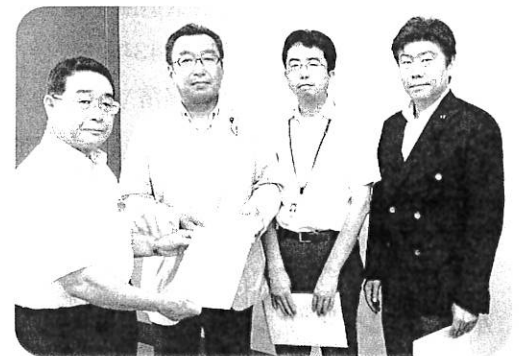
発行者

栃木県議会「みんなのクラブ」  
〒320-8501 宇都宮市埜田1-1-20  
TEL028-623-2923 FAX 028-623-2964  
E-mail tochigi@your-club.jp

# シャープ栃木工場縮小のニュースに、 「みんなのクラブ」が、緊急要望をいち早く提出

8月2日、大手電機メーカーのシャープが、矢板市にある栃木工場を大幅に縮小することを発表しました。そこで栃木県議会「みんなのクラブ」及びみんなの党栃木県支部はその翌日、「シャープ栃木工場縮小に伴う緊急要望」を佐藤順一栃木県副知事（出張中の福田富一知事代理）にいち早く提出しました。

緊急要望は、「県内での連絡調整会議の設置」「栃木労働局と連携した離職者支援」「シャープの太陽光発電事業への支援」の3項目で構成されています。これら要望内容に対し、県は早速、連絡会議を設置するなどの取組を開始しています。



緊急要望を手渡す相馬憲一、齋藤淳一郎、鶴貝大祐の各議員

シャープは、これまで矢板市を始めとする県北地域の経済や雇用に大きな役割を果たしてきました。また今回のシャープの苦境は、県内製造業に共通するものです。そこで「みんなのクラブ」は、工場縮小による地域経済への影響を最小限に抑え、一人でも多くの雇用を守っていくために、今後とも「全県的に」「党派の枠組みを超えて」全力を尽くしていきます。

## 下野新聞でみる「みんなのクラブ」の取組とその成果

### 連絡調整会議設置など要望 みんなのクラブ

県議会第2会派のみんなのクラブは3日、矢板市のシャープ工場縮小について「地域経済への影響を最小限に抑え、雇用を守る」などとした緊急要望書を福田富一知事宛に提出した。

シャープや矢板市、栃木労働局などへの一元的な窓口となる連絡調整会議（仮称）を県産業労働観光部内に設置し、情報共有や離職者への支援を求めた。

また同工場が製造している太陽光パネルなどのメガソーラー事業に対し、雇用を守る観点から県として支援することも求めている。

【出所：8月4日付け下野新聞】

### シャープ栃木工場縮小 県、矢板市が連絡会議

シャープ栃木工場（矢板市早川町）が大幅に縮小される問題で県は6日、関係部局でつくる庁内連絡会議を設置するとともに、受注減が懸念される県内中小企業を対象とした相談窓口を設けた。矢板市も同日までに、連絡調整会議を設置し情報収集を始めた。

県による連絡会議は、産業労働観光部、環境森林部などの6課1本部で構成。同工場の中核「AVシステム事業本部」の奈良県移管に関する情報収集や、県内の下請け企業への影響、従業員削減など雇用に関する問題に対応する。（以下略）

【出所：8月7日付け下野新聞】

平成24年8月3日

栃木県知事  
福田 富一 様

みんなの党栃木県支部  
支部長 渡辺 喜美  
栃木県議会みんなのクラブ  
代表 増 淵 三津男

## シャープ栃木工場縮小に伴う緊急要望について

我が国の製造業は、デフレや円高の進行に加えて、高い法人税、電力不足やF T A(自由貿易協定)の立ち遅れといった、「何重苦」にもあえいでいる。そして全国有数の「ものづくり県」である本県にとって、問題は一層深刻である。

こうした厳しい状況のもとで、大手電機メーカー、シャープは、昨日、矢板市にある栃木工場を大幅に縮小することを発表した。これまで液晶テレビ等を開発、製造してきたA Vシステム事業本部の機能を奈良県に移管するとともに、従業員1,500人の中から希望退職を募るとされている。

シャープ栃木工場は、昭和43年に矢板市で操業を開始して以来、今日に至るまで本県製造業をリードし、また矢板市を始めとする県北地域の経済や雇用に大きな役割を果たしてきた。そこで今回の工場縮小は、東日本大震災の痛手からようやく立ち直ろうとしている県北地域に、再び大きな打撃を与えようとしている。

そこでシャープ栃木工場縮小に伴う地域経済への影響を最小限に抑え、一人でも多くの雇用を守っていくために、別記項目を速やかに実施することを緊急要望する。

### 別記 シャープ栃木工場縮小に伴う緊急要望

#### 1 「シャープ栃木工場縮小に伴う連絡調整会議（仮称）」の設置について

県内経済及び雇用への影響について適切な対策を講じるために、産業労働観光部産業政策課を主管課とし、部内各課を構成員とする「シャープ栃木工場縮小に伴う連絡調整会議（仮称）」を設置し、シャープ、矢板市、厚生労働省栃木労働局等との間の一元的な窓口になるとともに、必要な情報を共有すること。

#### 2 栃木労働局と連携した離職者支援について

今後見込まれる離職者については、関連企業の従業員も含めて、栃木労働局と連携して全力でその支援に取り組むこと。その中でハローワーク矢板（矢板公共職業安定所）に専門窓口を設け、きめ細かい相談支援にあたるよう要望すること。

#### 3 シャープの太陽光発電事業への支援について

昭和34年から太陽光発電に取り組んできたシャープは、現在、太陽光パネルの製造やメガソーラー（太陽光発電所）などの実績が群を抜いている。栃木工場においても太陽光パネルを生産している。

このほどシャープは、とちぎ環境立県戦略に掲げた「とちぎサンシャイン」プロジェクトに基づくメガソーラー事業に応募し、矢板南産業団地（矢板市こぶし台）にメガソーラーを設置することとしている。

そこでこの機会を捉えて、矢板市内におけるシャープの太陽光発電事業の一層の拡大を支援するために、シャープと協議の上で必要な優遇措置を講じ、栃木工場の従業員を一人でも多く、引き続き矢板市内で雇用できるよう努めること。

なお、このほど分譲価格が26.2%引き下げられた矢板南産業団地への企業誘致に一層注力し、矢板市周辺での雇用の拡大に合わせて努力すること。

シャープ栃木工場縮小に伴う県民の皆さんのご意見やご要望を、栃木県議会みんなのクラブまでお寄せください。  
栃木県議会みんなのクラブ(TEL028-623-2923、FAX028-623-2964、E-mail tochigi@your-ciub.jp)